

2009年5月 現在

小黒 曜子 (おぐろ ようこ)

2009年度 COE 研究員

連絡先: oguro.yoko[at]gmail.com ([at]を@にして下さい。)

専攻分野: 国際経済学, マクロ経済学

研究テーマ: 為替レートが国際貿易に及ぼす影響に関するミクロ的基礎に基づく分析

博士学位請求論文題目 (予定): “Trade and Exchange Rates”

学歴

1998年3月 国際基督教大学教養学部国際関係学科 (経済学専攻) 卒業, 教養学士

2000年3月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程 (応用経済専攻) 修了, 経済学修士

2005年9月 ボストン大学経済学部, M.A., Economics

2009年3月 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程 (応用経済専攻) 単位取得退学

職歴

1998年4月 ~ 2000年3月 国際基督教大学教養学部国際関係学科 (R. Buckley 教授付)
非常勤副手

1998年7月 ~ 1998年10月 一橋大学経済研究所 (深尾京司教授) リサーチアシスタント

1999年8月 ~ 2000年3月 一橋大学経済研究所 アジア長期経済統計プロジェクト
(COE 形成プログラム) インドネシア国民所得統計班
リサーチアシスタント

2000年4月 ~ 2003年6月 国際基督教大学教養学部国際関係学科 (山本和教授付)
非常勤副手

2001年7月 ~ 2002年8月 一橋大学経済研究所 (花崎正晴助教授 (当時))
リサーチアシスタント

2006年6月 ~ 2008年3月 一橋大学 21世紀 COE 「社会科学の統計分析拠点構築」
日本学術振興会特別研究員 (DC2)

2006年7月 ~ 2006年8月 IMF (国際通貨基金) アジア太平洋地域事務所 (OAP)
エコノミスト・インターン (スーパーバイザー: Dr. Y. Khatri)

2007年4月 ~ 現在 明治学院大学経済学部 非常勤講師

2009年4月 ~ 2010年3月 一橋大学グローバル COE 「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」 COE 研究員

研究業績

◆ 論文・ディスカッションペーパー等

- Oguro, Yoko (2009) “The Effect of Exchange Rate Fluctuations on Japan's Exports.” (執筆中)
- Oguro, Yoko (2009) “Exchange Rate Pass-Through into Import Prices and Intra-Industry Trade.”
- Oguro, Yoko (2009) “The Sensitivity of Export Quantities to Exchange Rates in the Context of Intra-Industry Trade.”
- Oguro, Yoko, Kyoji Fukao and Yougesh Khatri (2008) “Trade Sensitivity to Exchange Rates in the Context of Intra-Industry Trade,” *IMF Working Paper* No.08/134. [査読有り]
- Oguro, Yoko (2008) “The Influence of Intra-Industry Trade on Export Sensitivity to Exchange Rates,” 野田容助・黒子正人・吉野久生編『調査研究報告書 開発研究センター 2007-II-03 貿易関連指数による国際比較と分析』第9章, 日本貿易振興機構アジア経済研究所, 259-284 頁.
- Oguro, Yoko (2007) “The Influence of Intra-Industry Trade on Export Sensitivity to Exchange Rates,” *Hi-Stat Discussion Paper Series* d07-222, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University.
- 阿部修人・小黒曜子 (2004) 「社長交代と外部出身取締役 —Semiparametric 推定による分析—」, 『経済研究』第55巻, 第1号, 72-84 頁. [査読有り]
- 花崎正晴・小黒曜子 (2003) 「銀行の所有構造とパフォーマンス —エントレンチメント仮説の検証」, 林敏彦・松浦克己・米澤康博編著『日本の金融問題』第8章, 日本評論社, 167-187 頁.

◆ 学会報告

- “The Influence of Intra-Industry Trade on Export Sensitivity to Exchange Rates,” 日本経済学会 春季大会 (ポスター・セッション), 2008年5-6月, 仙台. [事前審査有り]
- “The Influence of Intra-Industry Trade on Export Sensitivity to Exchange Rates,” The Eastern Economic Association Annual Conference 2008, 2008年3月, 米国ボストン. [事前審査有り]

- “The Influence of Intra-Industry Trade on Export Sensitivity to Exchange Rates,” 「貿易指数の作成と応用 (IV)」研究会, 2007 年 12 月, 日本貿易振興機構アジア経済研究所, 東京.
 - “Trade Sensitivity to Exchange Rates in the Context of Intra-Industry Trade,” IMF Seminar, 2007 年 12 月, 国際通貨基金(IMF)アジア太平洋地域事務所, 東京.
 - “The Influence of Intra-Industry Trade on Export Sensitivity to Exchange Rates,” ミニコンファレンス「日本の経済システムの検討」第 2 回, 2007 年 11 月, 一橋大学, 東京.
 - “Trade Sensitivity to Exchange Rates in the Context of Intra-Industry Trade,” IMF Internal Seminar, 2006 年 12 月, 国際通貨基金(IMF)アジア太平洋地域事務所, 東京.
- ◆ その他
- Oguro, Yoko (2006) “Trade Sensitivity to Exchange Rates in the Context of Intra-Industry Trade,” *IMF Regional Office for Asia and the Pacific Asia Update*, November 20: 1-5.
 - 小黒曜子 (2000) 「TFP 成長と投入増大型成長 インドネシア製造業の実証分析 (1978-1997)」, 修士論文, 一橋大学.

所属学会

日本経済学会, 日本国際経済学会, The Econometric Society

言語

日本語, 英語, インドネシア語 (日常会話)

照会先

深尾京司 (一橋大学経済研究所教授)

k.fukao[at]srv.cc.hit-u.ac.jp ([at]を@にして下さい。)

小川英治 (一橋大学大学院商学研究科教授)

ogawa.eiji[at]srv.cc.hit-u.ac.jp ([at]を@にして下さい。)